

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	灸実技 5	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	前期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実技			
教科書/教材	東洋療法学校協会 指定教科書						
担当教員情報							
担当教員	矢野 恭一郎			実務経験の有無・職種	有・鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師		
学習目的							
東洋医学的診断法と西洋医学的診断法を学び、適切な施術を施すための判断力を養う。鍼灸施術にとって最も大切な能力は、その患者の 状態を正確に把握することである。そのための方法として、東洋・西洋の両方に存在する人体把握の方法を身につけることを目的とする。							
到達目標							
東洋医学、中医学の診断方法から得た情報をもとに弁証論治が出来る。その弁証論治に沿い、鍼、灸それぞれの補瀉手技が出来る。補瀉 手技の技術を把握、獲得したことにより中医学的治療が出来るようになる。また、中医学の奥深さを知り、繊細な鍼灸技術を身につけるこ とが出来る。							
教育方法等							
授業概要	中医学の治法に基づいた鍼と灸それぞれの技術、手技量学を理解し身につけ、代表的な各疾患において弁証論治、施術が出来る ことを目的とする。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講 はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価 方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	期末試験(筆記試験)				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	鍼灸の治法、技術		鍼、灸それぞれの治法、補瀉手技を理解把握し、身につける				
2回	鍼灸の治法、技術		鍼、灸それぞれの治法、補瀉手技を理解把握し、身につける				
3回	鍼灸、吸角療法の治法、技術		吸角療法の治法、技術を理解把握し、身につける				
4回	舌脈所見からの処方、穴性学		舌脈所見から得た情報に対して鍼灸、吸角療法を穴性学を主に処方できる				
5回	舌脈所見からの処方、穴性学		舌脈所見から得た情報に対して鍼灸、吸角療法を穴性学を主に処方できる				
6回	八綱弁証・気血津液弁証①		八綱弁証、気血津液弁証に対する論治、鍼灸実技ができる				
7回	八綱弁証・気血津液弁証②		八綱弁証、気血津液弁証に対する論治、鍼灸実技ができる				
8回	臓腑弁証・肝		肝の弁証に対する論治、鍼灸実技ができる				
9回	臓腑弁証・心		心の弁証に対する論治、鍼灸実技ができる				
10回	臓腑弁証・脾		脾の弁証に対する論治、鍼灸実技ができる				
11回	臓腑弁証・肺		肺の弁証に対する論治、鍼灸実技ができる				
12回	臓腑弁証・腎		腎の弁証に対する論治、鍼灸実技ができる				
13回	六腑弁証、臓腑兼弁証		六腑弁証、臓腑兼弁証に対する論治、鍼灸実技ができる				
14回	頭痛		頭痛に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る				
15回	耳鳴り、難聴		耳鳴り、難聴に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る				